

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	20392	
事業名	老人クラブ活動補助金						
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 高齢福祉課					
	課長名	石崎 憲史	担当者名	永井 亮次	電話番号	211-2976	
施策名	主	地域で共生する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	老人クラブ活動に対する補助を継続する。				
		長期	高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援の観点から、地域を基盤とする自主組織である老人クラブの果たす役割は今後ますます期待されることから、本事業を通じて老人クラブ活動の一層の活性化を図る。				
	取組内容	地域における高齢者の社会参加を積極的に促進するために、老人クラブ活動のうち市長が適当と認める活動(ボランティア、友愛、スポーツ健康増進、文化・教養・趣味、レクリエーション)に対し補助を行なっている。平成25年度から、老人クラブ活動の活性化や会員数の増加を目指して、これまでの会員数区分による一律補助から、会員数区分による定額補助部分(基本額)と、地域を豊かにする社会活動への取組割合に応じた加算部分(加算額)による補助制度に改正した。					
	実施結果	令和3年度末の補助対象クラブ数及び会員数 393クラブ、20,561人					
事業実施における工夫点	老人クラブ活動のより一層の活性化やクラブ会員数の増加を目指し、会員数区分による定額補助(基本額)と地域を豊かにする社会活動への取組割合に応じた加算(加算額)を設けている。						
対象者	市内の各単位老人クラブ			開始	昭和34年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	老人福祉法 札幌市老人クラブ活動費補助金交付要綱						
他都市の状況	各政令指定都市においても老人クラブに財政的支援を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	32,365	39,000	30,145	36,000
うち特定財源	12,923	12,969	11,269	11,969
人工	0.2	0.2	0.0	0.2
人件費	1,440	1,440	0	1,440
計(事業費+人件費)	33,805	40,440	30,145	37,440
事業費の内訳	令和3年度決算	単位老人クラブへの補助金 27,798千円 時間外手当 32千円 国庫補助返還金 2,315千円		
	令和4年度予算	単位老人クラブへの補助金 35,907千円 時間外手当 93千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	単位老人クラブ数				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	428クラブ	442クラブ	393クラブ	413クラブ		
活動指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
成果指標1	指標名	老人クラブ会員数				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
	23,618人	25,800人	20,561人	21,380人		
成果指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	新型コロナウイルス感染症の影響により、クラブ活動が制限されたものの、老人クラブ活動を支援することにより、高齢者の組織化が図られ、高齢者の社会参加や相互の支え合い、仲間同士の交流を通じた生きがいがづくりや高齢者の地域貢献活動への参加など、地域福祉の向上に寄与している。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	会員数が減少傾向にあり、老人クラブがボランティアをはじめとした地域を豊かにする社会活動等を安定して行うためには、現行水準の補助が必要である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	老人クラブ活動の活性化やクラブ会員数の増加を目指し、会員数区分による定額補助(基本額)と地域を豊かにする社会活動への取組割合に応じた加算(加算額)を設けることにより、老人クラブによるボランティア活動や友愛活動などを促進し、まちづくりの活性化や地域福祉の向上を図っている。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	老人クラブにおける活動は、会員同士の交流やレクリエーションなどの社会参加のみならず、相互の支え合いや地域貢献活動への参加など、地域福祉の向上や介護予防の推進にもつながっている。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	老人クラブ数・会員数が近年減少傾向にあるため、札幌市老人クラブ連合会等と連携し、会員数の増強やクラブ活動の活性化を支援していく必要がある。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	なし			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	老人クラブ数・会員数は減少しているものの、老人クラブは地域における高齢者の自主組織としてあらゆる活動を行っており、高齢者の積極的な社会参加や生きがいがづくりを促進するうえで有効であるため、補助事業により、引き続き活動を支援する。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き補助を継続する。				
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 ● 縮小 <input type="checkbox"/> その他 新型コロナウイルス感染症の影響等により、老人クラブ数・会員数が減少していることから、老人クラブ数・会員数及び予算執行状況に応じた予算とする。		見直し効果額	4,500	千円